

(別添 4)

【沖縄県渡嘉敷村】

1人1台端末の利活用に係る計画

1.1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

1人1台端末とクラウドツールの利用により、データ利活用による個別最適な学びと協働的な学びを充実するとともに教師の負担を軽減する。

学習履歴、健康診断情報等のデータ利活用により、全ての児童生徒が適切な教育を受けられる環境を整備する。

一斉授業か個別学習か、デジタルかアナログかといった「二項対立」に陥らないことに留意しつつ、教育DXを推進する。

2. GIGA 第1期

の総括

GIGA 第1期では、村立学校教職員と児童生徒にアカウント配布を行い1人1台端末の整備を実施した。しかし、端末利用開始後に多くの台数に耐えうるネットワーク環境が問題となり、R5年度にLTEモデルの端末を整備した。令和6年度にネットワークアセスメントを実施しGIGA 第2期向けネットワーク環境改善に向けた対応を行う。

これらのICT環境の整備に加え、渡嘉敷村教育委員会では教職員の研修の充実を図り、教職員のICT活用指導力の向上に努めてきた。今後も、全ての学校が授業や校務においてICTを積極的に活用できるよう、研修を実施する。

3.1 1人1台端末の利活用方法

令和7年度に予定している端末の整備・更新及びネットワーク環境の整備により、1人1台端末環境を引き続き整備する。

校内研修の積極的な実施と活用により、1人1台端末を文房具として毎日使う活用の構築を目指す。

また、授業において児童生徒が自ら調べ考えをまとめて発表する場面を設定することや、教職員と児童生徒、児童生徒同士がチャット等でやりとりできる環境、児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組める環境を整備する。

特別支援教育においては、障害のある児童生徒や合理的配慮を要する児童生徒への支援に取り組む。